

# 紀伊半島大水害 復旧・復興の現状と取組

平成26年9月更新版

奈良県紀伊半島大水害  
復旧・復興推進本部

# 目 次

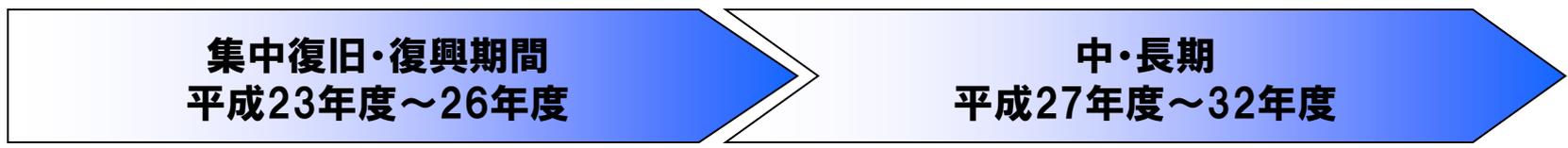
◆ 奈良県紀伊半島大水害復旧・復興計画の概要	.....	P 1
◆ これまでの復旧・復興の主な動き	.....	P 2
◆ 復旧・復興関係の予算概要	.....	P 3
◆ 避難の状況	.....	P 4
◆ 避難生活の早期解消に向けた取組の状況	.....	P 6
◆ インフラ等の復旧状況	.....	P 1 1
◆ 紀伊半島アンカールート	.....	P 2 5
◆ 農林業関係の復旧状況	.....	P 2 7
◆ 産業の復興状況	.....	P 3 4
◆ 観光業の復興状況	.....	P 3 6
◆ 福祉の充実	.....	P 4 0
◆ 新しい集落づくり	.....	P 4 1
◆ 安全・安心への備え	.....	P 4 2
◆ 地域産業復興の取組	.....	P 4 7
◆ ふるさと復興協力隊	.....	P 4 8

# ◆奈良県紀伊半島大水害復旧・復興計画の概要

## ◆基本方針

百年の計に立ち、「災害に強く、希望の持てる」地域を目指す。

## ◆計画期間：平成23年度～32年度までの10年間



## ◆復旧・復興に向けた取組方針

<h3>① 被災地域の迅速な立ち直り・回復</h3> <p>○ 地域住民が被災前の日常生活を一日も早く取り戻すことを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・道路等の応急復旧、土砂ダム対策</li><li>・避難者、被災者支援</li><li>・生業・産業支援</li></ul>	<h3>② 地域の再生・再興</h3> <p>○ 過疎化や高齢化が進行する被災地域が、将来にわたり希望を持ち、安全に安心して住み続けることのできる地域とすることを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・災害に強いインフラづくり</li><li>・新しい集落づくり</li><li>・産業・雇用の創造(林業、観光等)</li><li>・くらしづくり(教育、医療、福祉等)</li></ul>
<h3>③ 安全・安心への備え</h3> <p>○ 紀伊半島大水害の経験を踏まえ、今後の災害に備え、安全・安心のための新たなシステムづくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・監視・警戒・避難のシステムづくり</li><li>・深層崩壊のメカニズム解明と対策研究</li><li>・記録の整備、次世代への継承</li></ul>	<h3>【復旧・復興の7つのポイント】</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>・長期避難者の早期解消</li><li>・新しい集落づくり</li><li>・紀伊半島アンカールートの整備</li><li>・安全・安心への備え</li><li>・地域経済を支える産業に対する支援</li><li>・ふるさと復興協力隊</li><li>・森林資源を活用した地域づくり</li></ul>

# ◆これまでの復旧・復興の主な動き(計画策定以降)

平成24年

3月26日 第6回本部会議  
・「復旧・復興計画」及び「同アクション・プラン」の確定について  
・平成24年度以降の復旧・復興推進体制について  
(本部会議に計画推進会議及び計画推進チーム(8チーム)を設置)

4月 1日 復旧・復興担当副知事を配置  
・土木部に深層崩壊対策室設置  
・南部農林振興事務所に「復旧・復興調整係」設置

4月24日 第23回紀伊半島知事会議

5月18日 「災害復旧・復興に係る国の法令等の改善について」の政府提案活動

6月 5日 第3回国・三県合同対策会議(東京)

6月11日 第7回本部会議

8月31日 避難者の早期帰宅に向けた知事・3市村長  
記者会見

9月 6日 第1回復旧・復興シンポジウム

9月10日 第8回本部会議

11月26日 第9回本部会議

平成25年

1月28日 復旧・復興関係の3県(奈良県・和歌山県・  
三重県)合同政府提案活動

2月19日 第10回本部会議

6月13日 第11回本部会議

9月 2日 第12回本部会議

9月 5日 第2回復旧・復興シンポジウム  
～インタープリバント2014プレイベント共催～

11月11日 第13回本部会議

11月23日～24日 なんゆう祭(南部地域産業復興推進大会)

平成26年

2月24日 第14回本部会議

4月30日 十津川村避難解消

6月11日 第15回本部会議

7月20日 野迫川村避難解消

9月 1日 第3回復旧・復興シンポジウム

9月11日 第16回本部会議



第3回復旧・復興シンポジウム  
平成26年9月1日、参加者数323名

# ◆復旧・復興関係の予算概要

## 【平成23年度】

・予備費充用額	<u>62百万円</u>
・知事専決処分	<u>6,905百万円</u>
・9月補正予算	<u>7,288百万円</u>
・11月補正予算	<u>18,644百万円</u>
・2月補正予算	<u>501百万円</u>

## 【平成24年度】

・当初予算額	<u>25,371百万円</u>
・9月補正予算	<u>180百万円</u>
・12月補正予算	<u>192百万円</u>
・2月補正予算	<u>5,136百万円</u>

## 【平成25年度】

・当初予算額	<u>21,981百万円</u>
・6月補正予算	<u>434百万円</u>
・9月補正予算	<u>7百万円</u>

## 【平成26年度(平成25年度2月補正予算含む)】

・平成26年度当初予算	21,262百万円
・平成25年度2月補正予算	1,842百万円
<b>合計</b>	<b>23,104百万円</b>

- ① 被災地域の迅速な立ち直り・回復
  - 道路等の応急復旧、土砂ダム対策 4,697百万円
  - 避難者・被災者支援 19百万円
  - 生業・産業支援 64百万円
- ② 地域の再生・再興
  - 災害に強いインフラづくり 17,146百万円
  - 新しい集落づくり 290百万円
  - 産業・雇用の創造(林業、観光等) 626百万円
  - くらしづくり(教育、医療、福祉等) 37百万円
- ③ 安全・安心への備え
  - 監視・警戒・避難のシステムづくり、深層崩壊のメカニズム解明と対策研究 110百万円
  - 記録の整備、次世代への継承 1百万円
- ④ その他
  - 復旧・復興の推進 114百万円

**9月補正予算案**  
**・応急仮設住宅延長事業 5,589千円**

# ◆避難の状況

## 【これまでの取組成果】

被災直後（平成22年9月5日）938人 → 現在（平成26年9月1日）25人  
 ※十津川村と野迫川村の避難は全て解消  
 ※平成26年度中には、すべての避難者が帰宅可能となる見込み

## ◇避難者数

※避難世帯数、避難者数には自主避難を含む

年月日		市町村数	避難所数 (箇所)	避難世帯数 (世帯)	避難者数 (人)
被災直後	H23年 9月5日 11:00	1市 1町 7村	52	359	938
前回報告	H26年 5月30日	1市 2村	0	57	119
現在の 状況	H26年 9月1日	1市	0	14 (うち避難勧告・指示対象 11)	25 (うち避難勧告・指示対象 21)

◇被災直後からの増減  
 世帯数 ▲345  
 人数 ▲913

◇前回報告からの増減  
 世帯数 ▲43  
 人数 ▲94

## ◇応急仮設住宅の入居状況(平成26年9月1日現在)

市町村名	仮設 箇所数	26年 9月1日現在		前回(26/5/30)		増減	
		世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
五條市	2箇所	10	17	26	47	▲ 16	▲ 30
野迫川村	1箇所	0	0	25	58	▲ 25	▲ 58
十津川村	0箇所	0	0	0	0	0	0
合計		10	17	51	105	▲ 41	▲ 88

## ◇避難者の推移及び今後の帰宅等予定時期

## 【市村別の避難者数の推移】

	五條市		野迫川村		十津川村	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
23年9月(ピーク時※)	105	204	114	239	237	427
前回報告(26/5/30)	30	56	27	63	0	0
<b>26年9月1日現在</b>	<b>14</b>	<b>25</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(ピーク時との増減)	▲ 91	▲ 179	▲ 114	▲ 239	▲ 237	▲ 427
(前回との増減)	▲ 16	▲ 31	▲ 27	▲ 63	0	0

※ピーク時 五條市:9月4日 野迫川村9月4日 十津川村:9月5日

## 【今後の帰宅等が可能となる目処】

	五條市		野迫川村		十津川村		合計	
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
帰宅準備中	3	4	-	-	-	-	3	4
27年1月末まで	11	21	-	-	-	-	11	21

- ※ 【帰宅等が可能となる目処】は、避難の原因を解消するための対策工事が完了する予定の時期等を記載。  
 なお、実際に避難者の帰宅が完了するのは、上記に引越期間等(概ね1~2ヶ月)を考慮した時期となる予定。  
 ※ 平成27年1月末までに帰宅等が可能となる地区は、五條市大塔町辻堂地区。

# ◆避難生活の早期解消に向けた取組の状況

## ◇主な地区の状況

### 【辻堂地区】 ※避難指示(一部避難勧告)発令中

避難世帯	避難者数
11世帯 (うち仮設 7世帯)	21人 (うち仮設13人)

(平成26年9月1日現在)

#### ○避難生活の解消に向けた取り組み状況

- ・市内中心部など地区外での生活を希望された避難者は、市営住宅等への転居が完了。
- ・自宅等へ戻ることを希望される避難者は、避難指示・避難勧告の解除後に帰宅可能となる（解除時期については、柳谷の堰堤工事の進捗状況により、五條市が判断）。
- ・県と五條市が共同して、地区の復興住環境整備に向けた検討を実施。
- ・地区全体の復興集落づくりに向けた取組について、県が専門技術的な支援のできるコンサルタントに委託し、支援を実施中。

#### ○関連する工事等の状況

- ・鍛冶屋谷の堰堤工事は完成済みであり、**現在山腹工を実施中。**
- ・柳谷は、平成26年3月に法面上の石の不安定化や崩落部の拡大が確認されたため、新たな対策工を実施し、**8月末に堰堤の床堀と法面对策工を完了。**  
コンクリート本堰堤工事の完成は、平成27年1月末になる見込み。
- ・**国道168号(現道)の橋梁復旧は、平成26年8月末に完了。**  
通行再開は、柳谷の堰堤工事の完成時期に合わせ、平成27年1月末になる見込み。

被災直後(柳谷)



平成23年9月撮影

平成25年台風18号被災後



平成25年9月撮影

現 状 : 床堀完了



平成26年8月25日撮影

## 【宇井・清水・閉君地区】※避難指示・避難勧告は解除済み

## ○避難生活解消及び集落復興に向けた取組み状況

- ・対策工事の進捗により、平成24年11月1日に避難勧告を解除済み。
- ・市内中心部など地区外での生活を希望された方は、市営住宅等へ転居済み。
- ・自宅へ戻ることを希望された方は、自宅に帰宅済み。
- ・自宅が被災し、大塔町内での生活を希望された避難者のため、小規模住宅地区改良事業として、**復興住宅を市が天辻地区と宇井地区に建設し、入居希望者全員が入居済み**（詳細はP10参照）。
- ・生活再建に必要な地区内道路や公共広場などの住環境整備も市が推進。
- ・市の復興住宅建設関連事業について、県が専門技術的な支援のできるコンサルタントに委託し、支援を実施中。

避難世帯	避難者数
<b>0世帯</b> (うち仮設0世帯)	<b>0人</b> (うち仮設0人)

(平成26年9月1日現在)

## ○関連する工事等の状況

- ・河川災害復旧事業（県）により熊野川の堆積土砂撤去を実施し、県道高野辻堂線が浸水しない程度まで復旧済み。
- ・直轄特定緊急砂防事業(国)により、大規模崩壊箇所の仮設護岸工は平成24年10月末に完成。現在、上部法面工を実施中。

## 被災直後



平成23年10月19日撮影

## 現状



平成26年8月22日撮影



平成26年8月22日撮影(斜面对策状況)

## 【飛養曾・引土地区】 ※避難勧告解除済み

避難世帯	避難者数
2世帯 (うち仮設2世帯)	3人 (うち仮設3人)

(平成26年9月1日現在)

## ○避難生活の解消に向けた取り組み状況

- ・直轄治山事業（国）が進捗し、平成25年6月1日に避難指示から避難勧告へ変更。
- ・平成26年7月1日に避難勧告を解除。
- ・引き続き直轄事業（国）による山腹対策工事と市道災害復旧工事（市）を実施し、住民の安心・安全な生活を確保する。

## ○関連する工事等の状況

- ・直轄治山事業（国）により山腹の地すべり対策工事を実施中。  
(26年度工事は、7月から着工済み。)
- ・市道川西線の災害復旧工事（市）は、着工済み。  
直轄治山工事（国）との工事間調整を行いながら工事を実施中。(10月末完成見込み)

## 前回



市道敷地外へ作業用盤台設置済み  
平成26年5月22日撮影

## 現状



市道災害復旧工事(モルタル吹付工完了)  
平成26年8月20日撮影



市道災害復旧工事(アンカーボーリング施工中)  
平成26年8月20日撮影

## 【野迫川村北股地区】 ※避難指示解除済み

避難世帯	避難者数
0世帯 (うち仮設住宅0世帯)	0人 (うち仮設住宅0人)

(平成26年9月1日現在)

## ○避難生活解消及び集落復興に向けた取り組み状況

- ・自宅へ戻ることを希望された避難者は、平成26年7月1日に避難指示解除となり、7月20日に全員帰宅済み。
- ・自宅が被災した避難者のため、小規模住宅地区改理事業として、復興住宅を村が建設し、入居希望者全員が入居済み(詳細はP10参照)。
- ・生活再建に必要な地区内道路や公共広場などの住環境整備も村が推進。
- ・村の復興住宅建設関連事業について、県が専門技術的な支援のできるコンサルタントに委託し、支援を実施中。

## ○関連する工事等の状況

- ・直轄特定緊急砂防事業(国)により岩谷の対策工事を実施中。平成25年12月末に下流砂防堰堤工を完了。  
引き続き、溪流保全工、上流砂防堰堤工等に着手。現在、上流堰堤および斜面排土を実施するために必要な工事用道路を実施中。
- ・砂防事業(県)によりイデ谷の本堰堤工を平成26年5月末に完了。引き続き、前庭保護工及び山腹工等を実施中。

野迫川村北股地区復旧記念式典の様子  
(平成26年8月5日)

## 被災直後(岩谷)



平成23年9月6日撮影

## 現状

## ■岩谷(国)工事の状況



平成26年4月10日撮影



平成26年8月29日撮影

■イデ谷(県)工事の状況  
前庭保護工

平成26年8月22日撮影

## ◇復興住宅の建設状況

## 【これまでの取組成果】

住宅被害を受けた被災者向けの復興住宅が全て完成し、避難者が入居済み

## ○復興住宅の内訳

・ 五條市	阪本(天辻) 地区	4 戸	
	宇井地区	2 戸	
・ 野迫川村	北股地区	5 戸	
・ 十津川村	谷瀬地区	4 戸	
	猿飼(高森) 地区	9 戸	計24戸



阪本(天辻) 地区  
(平成26年5月15日撮影)



宇井地区  
(平成26年8月20日撮影)

## 【今後の取組予定】

## 3市村の取り組みを引き続き支援

## ○五條市

宇井・清水地区では、最優先課題であった復興住宅が完成し、引き続き集落基盤(道路、集会所、公園等)の復旧復興を支援

## ○野迫川村

北股地区では、集落全員の帰宅が完了。土砂崩壊で流された集落基盤(道路、橋、駐車場等)の復旧復興を支援

## ○十津川村

復興住宅が完成し、災害を契機とした村の芯づくり事業を推進(詳細はP41参照)



北股地区  
(平成26年7月16日撮影)



北股地区  
(平成26年7月16日撮影)



谷瀬地区  
(平成26年5月4日撮影)



猿飼(高森) 地区  
(平成26年5月4日撮影)

# ◆インフラ等の復旧状況

## ◇大規模崩壊への対策

### 【これまでの取組成果】

大規模崩壊対策が必要となった18箇所（県12箇所、国6箇所）について、

- ・ 県は、東吉野村麦谷の1箇所が完了し、11箇所において工事継続中
- ・ 国は、6箇所です工事継続中（平成26年8月末現在）

### □平成26年台風11号による影響

県による工事中箇所のうち、被災したのは3箇所（十津川村重里、十津川村折立、黒滝村赤滝）。

- ・ 工期延期となるのは、2箇所（重里、折立）で、大きな手戻り工事となり完成年度が延期となる見込。
- ・ 1箇所（赤滝）は、護岸と工事用道路等が被災したが、軽微であり、年度内完了。

十津川村宇宮原の被災は、押え盛土工事は完了したものの、完成後の護岸が新たに被災。

国工事の2箇所（赤谷、栗平）も一部被災。

県対応  
被災箇所数  
12箇所

国対応  
河道閉塞  
4箇所  
大規模崩壊  
2箇所

工事着手済  
県12箇所  
国6箇所

堰堤、斜面  
地滑り  
対策実施  
1箇所完了  
(H26.8.31)

着手率  
100%

H26年度末  
県災関  
8箇所  
完了見込

### 【今後の取組予定】

- ・ 県実施の11箇所のうち、8箇所の工事を平成26年度末までに完了させ、五條市辻堂柳谷、十津川村重里、折立の3箇所については、平成27年度に完了予定
  - ・ 柳谷については、平成27年1月末に避難解除の判断となる堰堤工を完了させ、その後山腹工を実施予定
- ※国実施工事は、赤谷、栗平にて被災あるが、平成28年度の完了に向けて引き続き工事を実施

## 県による復旧・対策状況(大規模崩壊)

箇所名	主な工事内容	完成目標	H26年8月末までの進捗状況	H26台風11号の影響	被害内容
①五條市大塔町辻堂柳谷	堰堤工 山腹工	H28. 3	堰堤工の床堀工が完了し、本堤コンクリート工に着手。H27年1月末に堰堤工を完了させ、山腹工の完了はH27年度予定		
②五條市大塔町辻堂鍛冶屋谷	堰堤工 山腹工	H27. 3	堰堤工が完成、山腹工を施工中		
③御杖村土屋原	堰堤工 溪流保全工	H26. 9	堰堤工(1号、2号)が完成、溪流保全工を施工中		
④黒滝村赤滝	堰堤工	H27. 3	堰堤工(1号)が完成、堰堤工(3号)を施工中 ※完成目標がH26年12月からH27年3月に変更	○ (年度内完了)	1号堰堤工上流カゴ枠護岸沈下、工事用道路及び施工ヤードが破損
⑤黒滝村中戸	堰堤工 溪流保全工	H27. 3	堰堤工(本堤)が完成、前庭保護工、溪流保全工を施工中		
⑥天川村広瀬 (地すべり対策工事)	集水井工 アンカー工	H26. 10	集水井工、アンカー工が完了 流末水路工を施工中 ※完成目標がH27年1月からH26年10月に変更		
⑦十津川村重里	堰堤工 溪流保全工、橋梁工	H27. 8	堰堤工(本堤)が完成、前庭保護工、溪流保全工を施工中 ※完成目標がH27年3月からH27年8月に変更	○	旧天然湖の堤体が部分決壊し、国道、堰堤直下が被災。堰堤が満砂状態。
⑧十津川村小井 (地すべり対策工事)	集水井工 アンカー工	H27. 1	集水井が完成、アンカー工を施工中		
⑨十津川村折立 (地すべり対策工事)	横ボーリング工 押え盛土工、アンカー工	H28. 3	横ボーリング工が完成 押え盛土工、アンカー工を施工中 ※完成目標がH27年3月からH28年3月に変更	○	押え盛土及び工事用道路が流失
⑩十津川村宇宮原 (地すべり対策工事)	横ボーリング工 押え盛土工、アンカー工	H26. 10	押え盛土工、アンカー工が完成、横ボーリング工を施工中	○ (H26災害)	(完成後の護岸が被災したため、H26災害復旧事業として対応)
⑪十津川村今西 (地すべり対策工事)	集水井工 アンカー工	H26. 12	集水井工、アンカー工が完成、法面工を施工中		
⑫東吉野村麦谷	堰堤工	H26. 8	堰堤工(1号、2号)完成		

# 平成26年台風11号による被災状況(県による大規模崩壊被災4箇所)

## 【十津川村重里(砂防)】

十津川大水害(明治22年)の旧天然湖(大畑瀨)の堤体が部分決壊し、国道及び堰堤直下が被災。堰堤が満砂状態。

旧天然湖



H26.8.11 撮影

堰堤の満砂状況

H26.8.11 撮影

被災前(堰堤下流)



H26.7.31 撮影

被災後(堰堤下流)



H26.8.12 撮影

## 【黒滝村赤滝(砂防)】

1号堰堤上流のカゴ枠護岸が沈下。工事用道路および施工ヤードが破損。

H26.8.10 撮影



1号堰堤の満砂状況

被災前

H26.8.10 撮影



被災後

H26.8.11 撮影



## 【十津川村折立(地すべり)】

地すべりを止めるための押え盛土および工事用道路が流失。

H26.8.11 撮影



河川の増水状況

被災前

H26.8.8 撮影



被災後

H26.8.12 撮影



## 【十津川村宇宮原(地すべり)】

完成後の護岸が被災。H26災害復旧事業として対応。

H26.8.11 撮影



被災状況(対岸より)

被災前

H26.8.9 撮影



被災後

H26.8.12 撮影



# 国による復旧状況

箇所名	完成目標	今後の予定工事	H26年度 工事实施内容	H25年度までの進捗状況	備考	H26 台風11号の影響
赤谷(五條市大塔町)	28年度	砂防堰堤工、床固工群等	砂防堰堤工	仮排水路工完成	河道閉塞	○
清水[宇井](五條市大塔町)	28年度	法面工、護岸工等	法面工	仮設護岸工完成	大規模斜面崩壊	
北股(野迫川村)	28年度	砂防堰堤工、床固工群等	砂防堰堤工、溪流保全工	仮排水路工完成	河道閉塞	
坪内(天川村)	28年度	法面工、河道拡幅、護岸工等	法面工、河道拡幅	仮設護岸工完成	大規模斜面崩壊	
長殿(十津川村)	28年度	砂防堰堤工、水路工、排土工等	砂防堰堤工	仮排水路工完成	河道閉塞	
栗平(十津川村)	28年度	砂防堰堤工、床固工群、排土工等	土砂掘削工(切土工)	仮排水路工完成	河道閉塞	○

北股地区状況



平成26年8月12日撮影  
(溪流保全工掘削状況)

坪内地区状況



平成26年8月29日撮影  
(河道拡幅状況)

長殿地区状況



平成26年8月22日撮影  
(堰堤設置状況)

# 平成26年台風11号による被災状況 (国土交通省による河道閉塞対策箇所の被災2箇所)

## 赤谷(五條市大塔町)



・砂防堰堤(H=12.0m)が河道閉塞の侵食を軽減したと推定

## 栗平(十津川村)

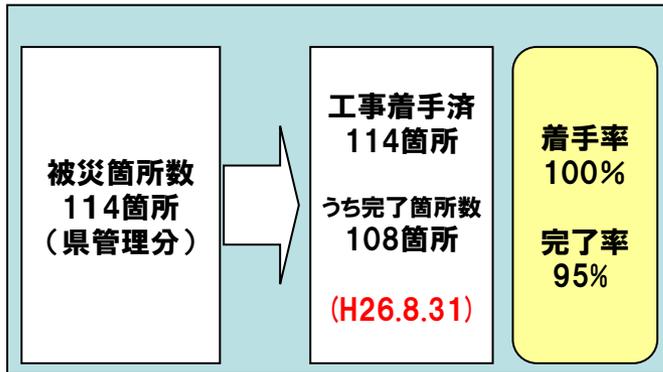


・仮排水路、暗渠排水管の位置を含む範囲で侵食(H=20~30m程度)発生

## ◇河川・砂防の災害復旧事業

## 【これまでの取組成果】

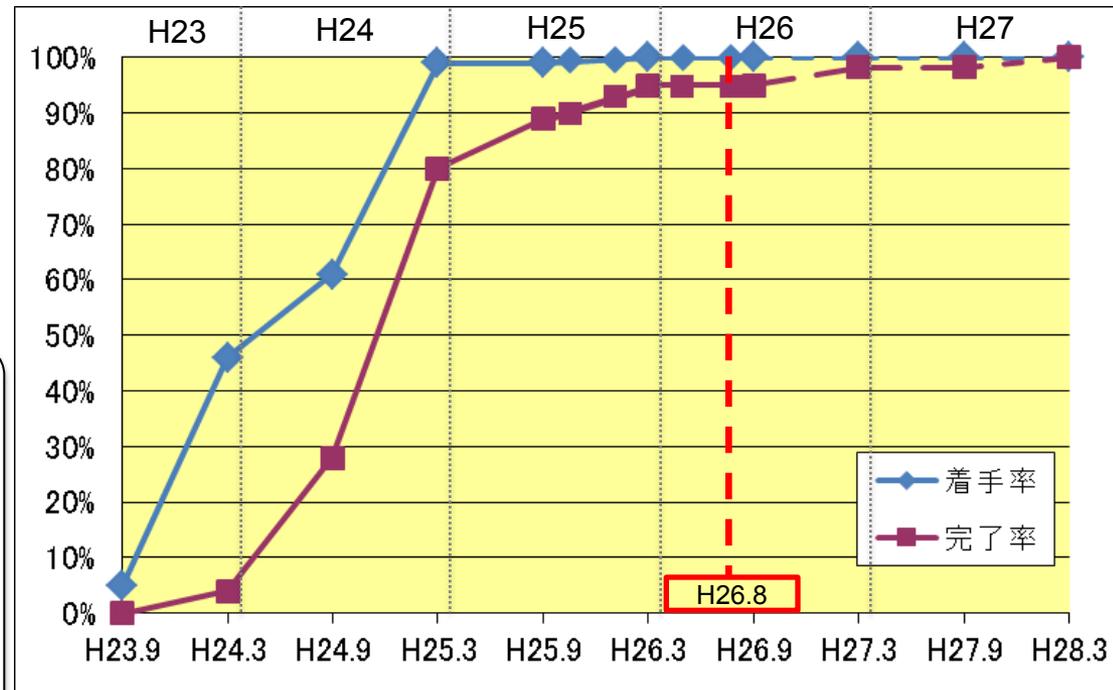
河川・砂防（県管理）の災害復旧事業は、114箇所中108箇所完了し、6箇所において工事継続中（平成26年8月末現在）



## □平成26年台風11号による影響

- ・工事中箇所のうち、被災したのは4箇所（熊野川（五條市大塔町宇井）、熊野川（十津川村七色）、北山川（十津川村竹筒）、熊野川（十津川村宇宮原）護岸）。
- ・宇井及び七色の2箇所ですり壊れ工事が生じ、完成年度が延期となる予定。
- ・竹筒及び宇宮原（護岸）の2箇所は、工事用道路が被災したが、影響は軽微であり、年度内に完了。

進捗状況（実績と今後の予定・見込み）



河川・砂防(市町村) 復旧対象:30箇所完了

## 【今後の取組予定】

- ・熊野川（十津川村宇宮原）護岸、熊野川（十津川村宇宮原）堆積土砂、北山川（十津川村竹筒）及び神納川（十津川村内野～杉清）の4箇所は平成26年度に完了予定
- ・熊野川（五條市大塔町宇井）と熊野川（十津川村七色）の2箇所は平成27年度に完了予定

# ○河川堆積土砂の撤去

## 【これまでの取組成果】

- ・被災8箇所のうち、6箇所の撤去が完了
- ・紀伊半島大水害により堆積した土砂（221万 $m^3$ ）のうち、213万 $m^3$ （96%）を撤去完了（平成26年8月末現在）

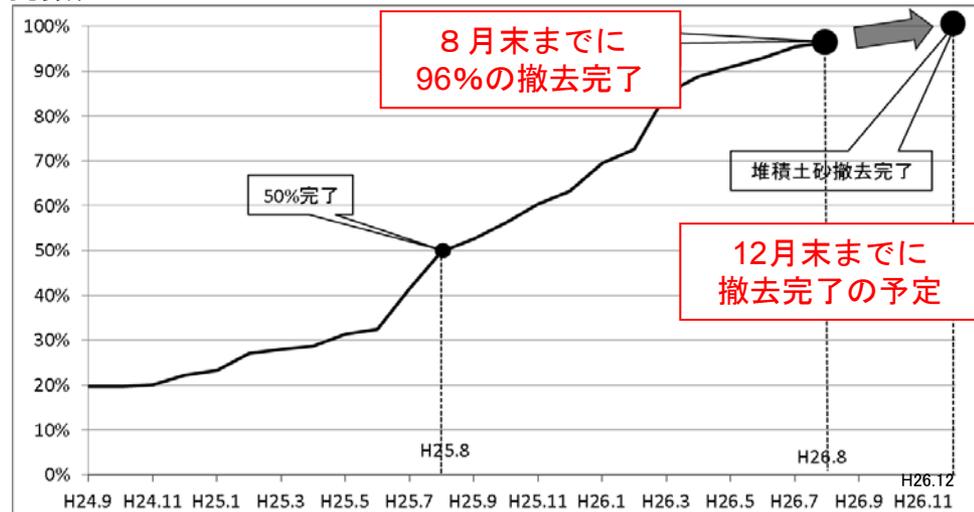
## 河道内の大規模な堆積土砂の撤去（河川・砂防災害の内数）



【前回（6月）との比較】91%→96%土砂撤去完了

※熊野川 天川村坪内、五條市大塔町宇井、十津川村宇宮原、野尻川原樋川 五條市大塔町清水  
神納川 十津川村内野～杉清  
山手川 十津川村山手  
北山川 下北山村下池原

## ◆堆積土砂撤去土量進捗状況



残土の受入れのための処分地工事も実施中（小原川ほか3箇所）

## □平成26年台風11号による影響

- ・紀伊半島大水害により堆積した土砂の221万 $m^3$ の撤去を予定どおり終わらせる。
- ・神納川では、新たに河道内に土砂が堆積したため、H26年度災害として対応する。

## 【今後の取組予定】

- ・残る2箇所（熊野川（十津川村宇宮原）、神納川（十津川村内野～杉清））8万 $m^3$ の撤去を、平成26年12月末までに完了予定

## 県による復旧・対策状況(河川災害)

河川名	箇所	主な工事内容	完成目標	H26年8月末までの進捗状況	H26 台風11号の 影響	被害内容
①熊野川	五條市 大塔町 宇井	護岸工	H28. 3	掘削工、盛土工及び残土処理工を施工中 完成目標がH27年3月からH28年3月に変更	○	残土処分地の護岸が被災
②熊野川	十津川村 七色	護岸工	H27. 12	法覆護岸工施工中 完成目標がH27年3月からH27年12月に変更	○	護岸工が被災し、工事用道路、 埋め戻し土が流失
③北山川	十津川村 竹筒	護岸工	H27. 3	法覆護岸工施工中であったが、部分完成後、 出水期休止 完成目標がH27年1月からH27年3月に変更	○ (年度内完了)	工事用道路が流失
④熊野川	十津川村 宇宮原	護岸工	H27. 3	発注準備中(非出水期から着工予定) 完成目標がH27年1月からH27年3月に変更	○ (年度内完了)	工事用道路が流失
⑤熊野川	十津川村 宇宮原	河川堆積 土砂撤去	H26. 12	宇宮原地区堆積土砂95%撤去		
⑥神納川	十津川村 内野～ 杉清	河川堆積 土砂撤去	H26. 9	神納川堆積土砂90%撤去		

# 平成26年台風11号による被災状況(河川災害)

## 【五條市大塔町宇井(河川)】

工事残土処分地の護岸が被災

H26.8.11 撮影



小原川土捨場

H26.8.11 撮影



清水土捨場

## 【十津川村竹筒(河川)】

工事用道路が流失

H26.6.16 撮影



工事用道路

H26.8.12 撮影



工事用道路流失

## 【十津川村七色(河川)】

護岸工が被災し、工事用道路、盛土材の流失。

H26.8.1 撮影



工事用道路流失

H26.8.8 撮影



H26.8.25 撮影



護岸基礎部被災

## 【十津川村宇宮原(河川)】

工事用道路が流失

H26.4.23 撮影



工事用進入路

H26.8.21 撮影



# 平成26年台風11号による被災状況(河川)

(参考)

## 河川の被災概要

- ・台風11号による河川の被災は66箇所  
(県管理44箇所、市町村管理22箇所)
- ・県管理河川の水系別の被災箇所数は、淀川水系17箇所、  
新宮川水系12箇所、大和川水系8箇所、紀の川水系7箇所

★紀の川水系 紀の川(五條市八田町)

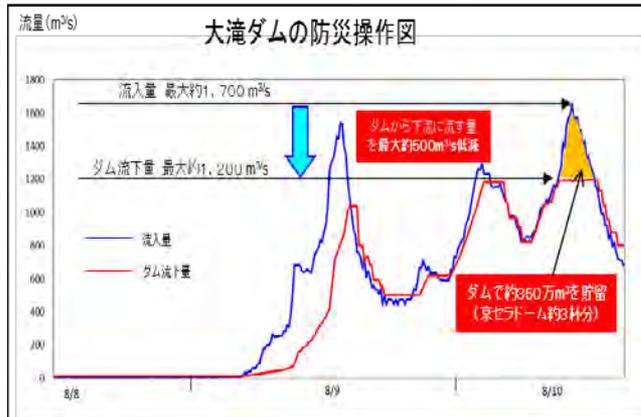


★新宮川水系 川原樋川(五條市大塔町清水)

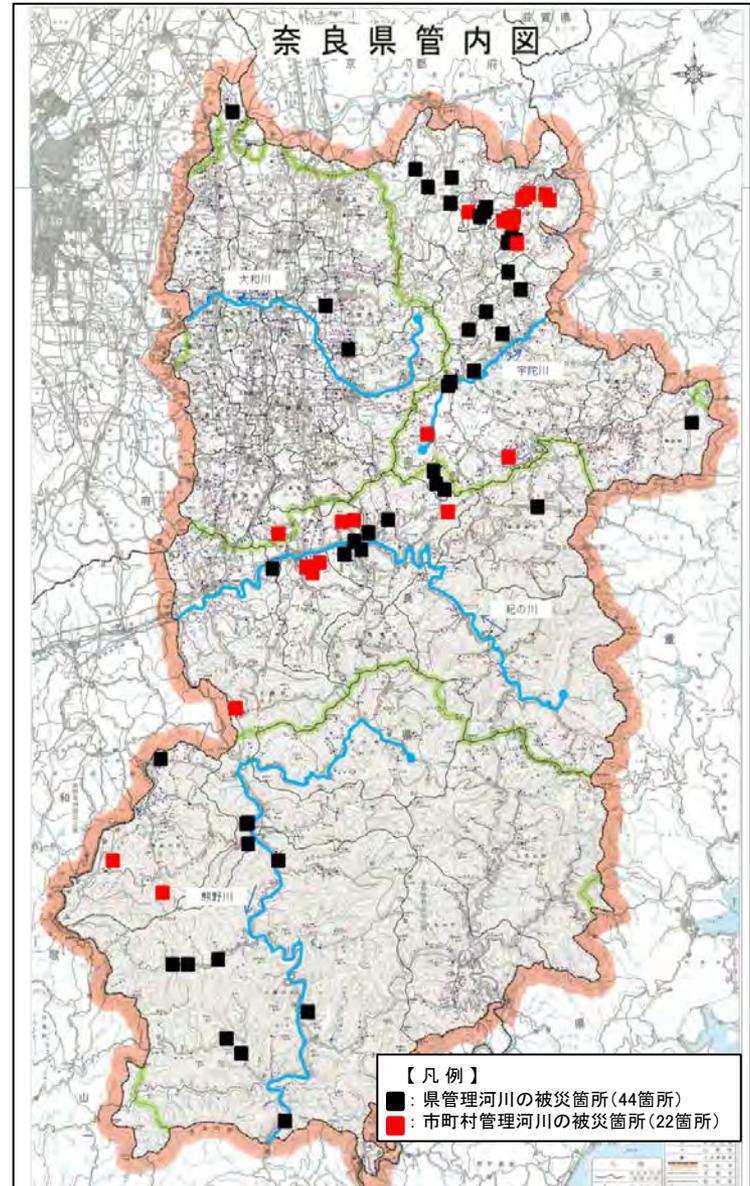


## 大滝ダムの効果

- ・大滝ダムでは、ダムから下流に流す量を最大約500m<sup>3</sup>/s低減。
- ・ダムで約350万m<sup>3</sup>の洪水を貯留。<速報値>



## 河川の被災箇所



## ◇道路の災害復旧事業

## 【これまでの取組成果】

- 道路災害復旧事業（県）は、126箇所中**121**箇所ですべて完了
- 国道168号（五條市大塔町辻堂）の1箇所が完了し、5箇所において工事継続中**  
（平成26年8月末現在）

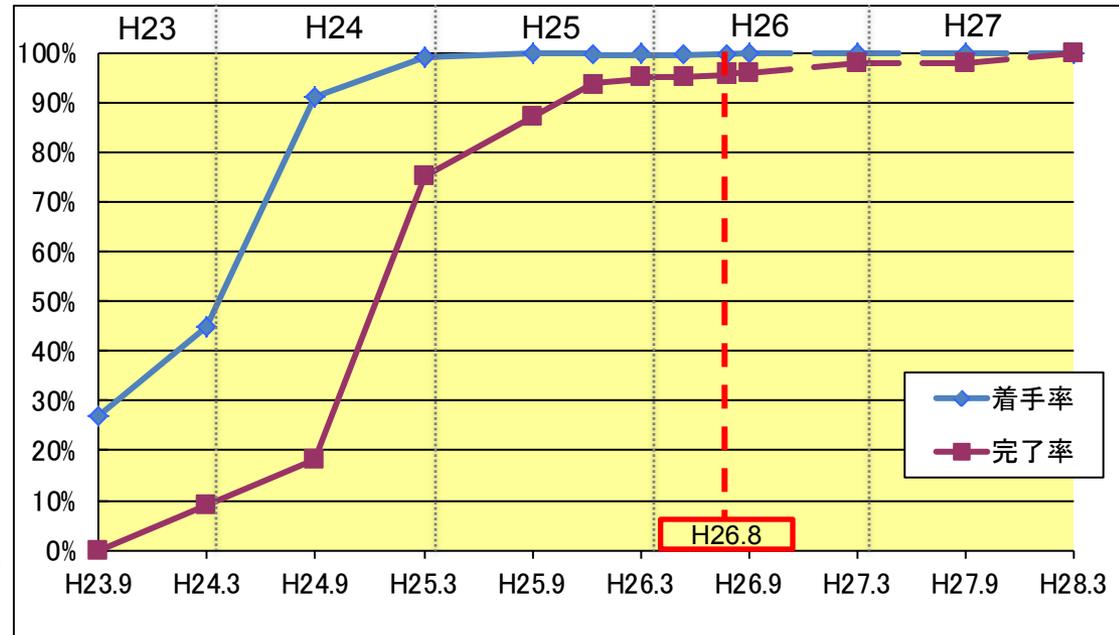


## 【前回（6月）との比較】

前回以降の完了箇所

（ 国道168号（五條市大塔町辻堂） ）

進捗状況（実績と今後の予定・見込み）



道路災害復旧事業（市町村）：158箇所 → 完了 156箇所（完了率99%）（H26.8末現在）

## □平成26年台風11号による影響

- ・工事中箇所のうち被災したのは、高野天川線（芦ノ瀬）の一部であり、被害は軽微。

## 【今後の取組予定】

- ・国道168号（十津川村長殿）、国道169号（川上村迫）及び国道369号（宇陀市榛原内牧）の3箇所は平成26年度に完了予定
- ・篠原宇井線（五條市大塔町惣谷）と高野天川線（芦ノ瀬）の2箇所は平成27年度に完了予定

## 県による復旧・対策状況(道路災害・災害関連)

路線名	箇所	主な工事内容	完成目標	H26年8月末までの進捗状況	H26 台風11号の 影響	被害内容
①国道168号	五條市 大塔町辻堂	橋梁上部工 崩土除去工	H26. 8	平成26年8月末復旧完了。		
②国道168号	十津川村 長殿	橋梁工 仮橋撤去工 崩土除去工	H27. 3	橋梁は平成26年3月28日に復旧完了。 崩土除去に伴う現地整地工を実施中。		
③国道169号	川上村迫	崩壊法面对策工 橋梁工 取付土工 仮橋撤去工	H27. 3	橋梁下部工(橋台2基、橋脚2基)は 完了。 橋梁上部工は桁架設が完了。 法面对策工実施中(アンカー工)。		
④国道369号	宇陀市 榛原内牧	排土工 法枠工 アンカー工 吹付工	H27. 1	施工箇所に隣接する法面は、当初より 地すべりの可能性があり、監視して いたが、変状が発生したため対策工 の追加実施と工期延伸が必要となっ たが、今年度内には完了予定。 完成目標が平成26年9月から平成27 年1月に変更。		
⑤篠原宇井線	五條市 大塔町惣谷	集水井工 横ボーリング工 アンカー工	H28. 3	補償交渉難航により着手が遅延。 伐採工、仮設工、横ボーリング工、 集水井工を施工中。		
⑥高野天川線 (芦ノ瀬)	天川村 南日裏	法枠工 アンカー工 横ボーリング工 橋梁上部工 流路工 他	H28. 3	平成27年度末の完了を目指し法面对 策工等を施工中。	○	台風11号により約1,300㎡の土 砂流出と法枠工の一部への被 災があり、手戻りが発生したが、 平成27年度末には完了予定。

※ 復旧完了箇所

## 県による復旧・対策状況(道路災害・災害関連)

国道168号 十津川村長殿(完成供用済)  
平成26年3月28日撮影



国道168号 五條市大塔町辻堂  
平成26年8月29日撮影



## 平成26年台風11号による被災状況(道路災害・災害関連)

高野天川線 天川村南日裏  
平成26年8月1日撮影



平成26年8月10日撮影



平成26年9月2日撮影



# 平成26年台風11号による被災状況(道路)

H26.9.3時点

## 通行規制状況

- ・平成26年台風11号により、ピーク時には82箇所(災害規制22箇所、雨量規制60箇所)で通行止め
- ・平成26年9月3日時点では、通行止め箇所は1箇所に減少

## 道路の被災概要

- ・平成26年台風11号による道路の被災は57箇所(県管理17箇所、市町村管理40箇所)

### ★国道425号(十津川村<sup>シタ</sup>重里)



- ・平成26年8月9日 9時35分 道路が被災しているため通行止め(延長=0.05km)
- ・9月3日 6:00 仮復旧工事完了により解除

### ★高野天川線(天川村<sup>イサミ</sup>庵住地内)



- ・平成26年8月9日 6時10分 崩土による通行止め
- ・平成26年8月12日 19時00分 解除

### ★高野辻堂線(五條市大塔町清水)



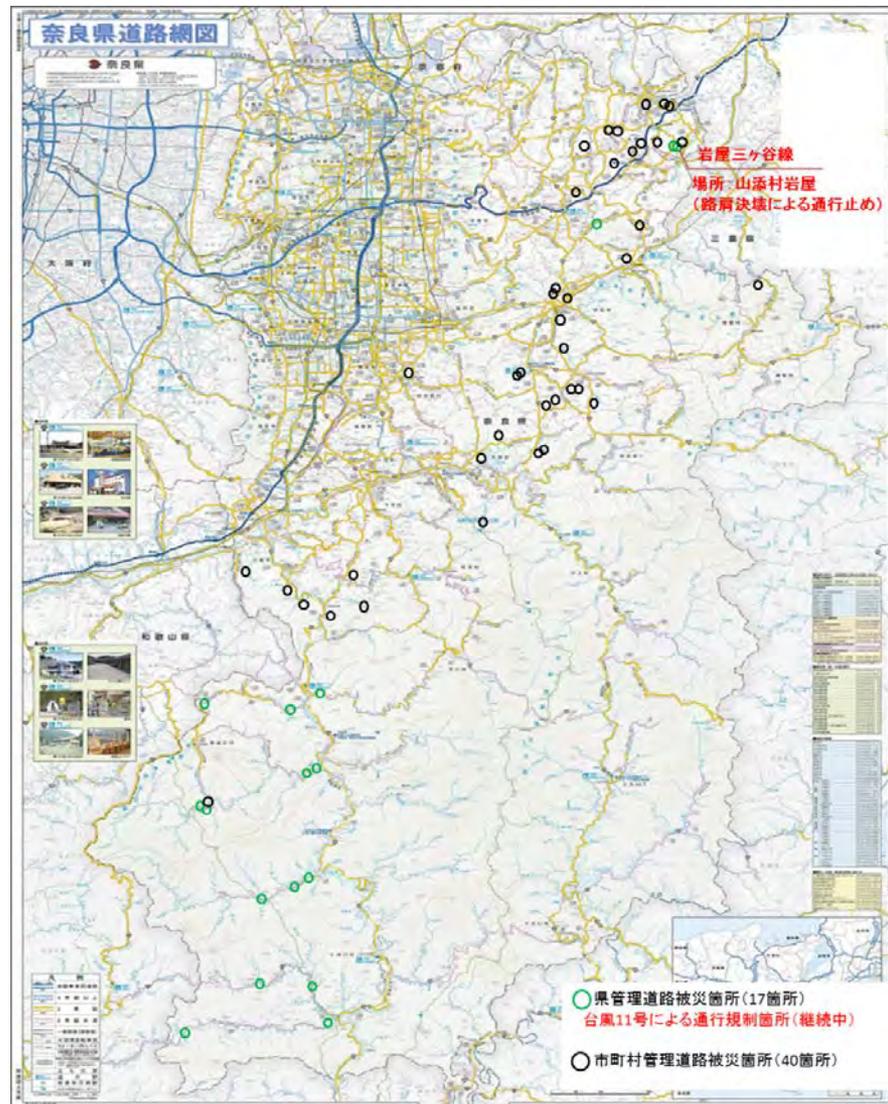
- ・平成26年8月9日 18時00分 道路陥没のため、通行止め(延長=0.05km)
- ・8月25日 仮復旧工事完了解除

### ★川津高野線(十津川村内野)



- ・平成26年8月10日 10時30分 流木・土砂による通行止め
- ・8月11日 9時45分 解除

## 道路の被災箇所

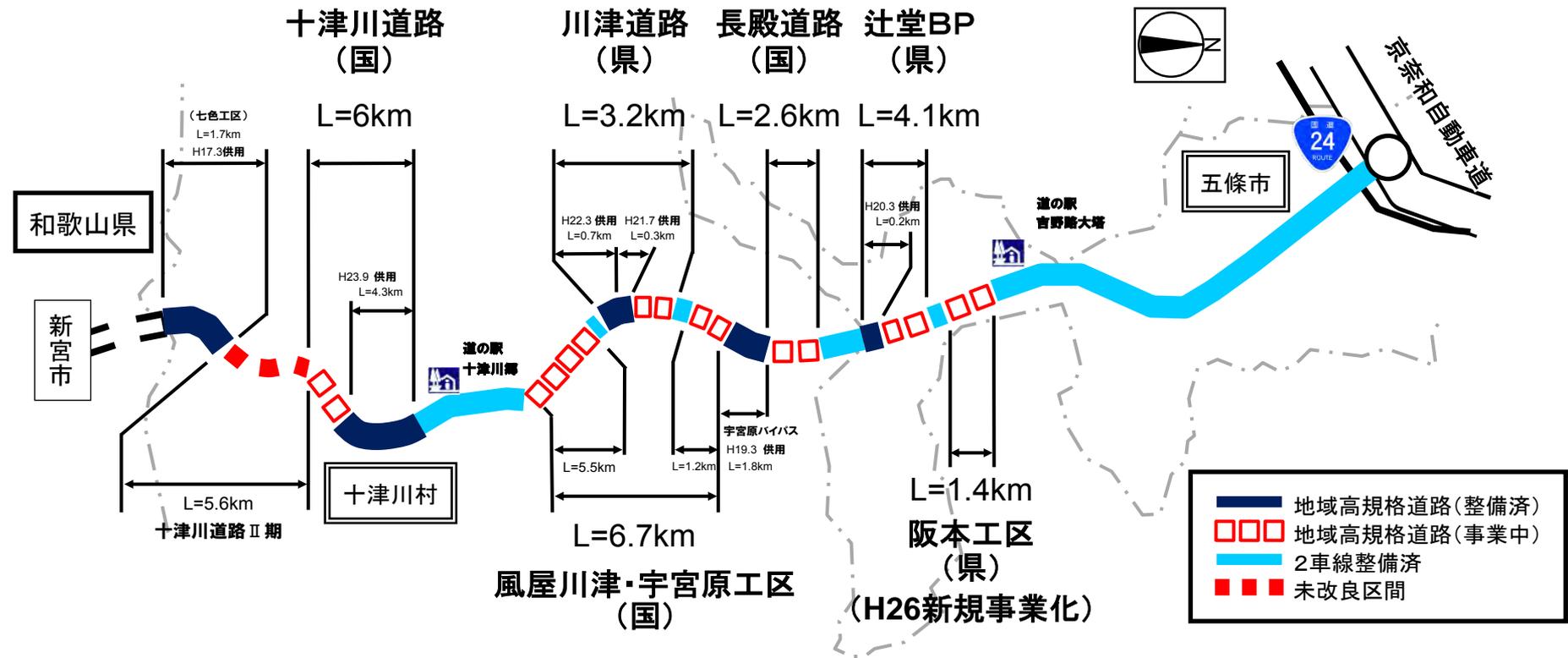


# ◆紀伊半島アンカールート

## 【これまでの取組成果】

- ・長殿道路(平成24年度)、風屋川津・宇宮原工区(平成25年度)が直轄権限代行により新規事業化
- ・阪本工区(平成26年度)が国庫補助により新規事業化。既存事業区間も、着実に整備を実施中

## 【紀伊半島アンカールート 国道168号五條新宮道路の進捗状況】



## 紀伊半島アンカールートの進捗状況

路線名	箇所	主な工事内容	H26年8月末までの進捗状況
国道168号	十津川道路 (国)	トンネル 3箇所 橋梁 2橋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H23.9 L=4.3km部分供用(トンネル2箇所、橋梁1橋)</li> <li>・今戸高架橋下部工施工中</li> <li>・用地買収実施中</li> </ul>
国道168号	風屋川津・宇宮原工区 (国)	トンネル 5箇所 橋梁 6橋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度直轄権限代行により新規事業化</li> <li>・調査設計を実施中</li> </ul>
国道168号	川津道路 (県)	トンネル 3箇所 橋梁 2橋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H21.7 L=0.3km部分供用(橋梁1橋)</li> <li>・H22.3 L=0.7km部分供用(トンネル1箇所)</li> <li>・河津大橋上部工完了</li> <li>・国王トンネル、高津トンネル施工中</li> </ul>
国道168号	長殿道路 (国)	トンネル 2箇所 橋梁 3橋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度直轄権限代行により新規事業化</li> <li>・調査設計、用地買収を実施中</li> </ul>
国道168号	辻堂バイパス (県)	トンネル 2箇所 橋梁 10橋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H20.3 L=0.2km部分供用(橋梁1橋)</li> <li>・トンネル1箇所、橋梁5橋完了(未供用)</li> <li>・天ノ川大橋、新閉君橋上部工架設中</li> <li>・堂平大橋下部工入札手続中</li> </ul>
国道168号	阪本工区 (県)	トンネル 1箇所 橋梁 1橋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度国庫補助により新規事業化</li> <li>・環境影響評価を実施中</li> </ul>



十津川道路(平成26年8月5日撮影)



川津道路(平成26年8月5日撮影)



辻堂バイパス(平成26年7月31日撮影)

# ◆農林業関係の復旧状況

## ◇農地及び農業用施設 ※すべて復旧完了済み

○農地 復旧完了箇所一覧

市町村名	箇所数	復旧対象施設
奈良市	4	田
五條市	6	田、畑
宇陀市	9	田
山添村	13	田、畑
曾爾村	3	田
御杖村	13	田、畑
吉野町	3	田、畑
大淀町	4	田、畑
天川村	5	田、畑
野迫川村	6	田、わさび田
十津川村	6	田、畑
東吉野村	2	田、畑
合計	74	-

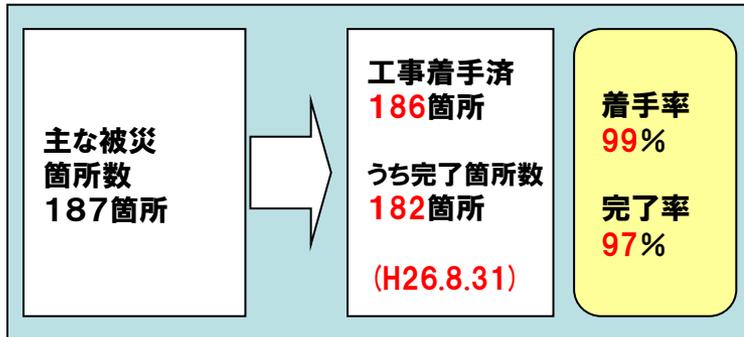
○農業用施設 復旧完了箇所一覧

市町村名	箇所数	復旧対象施設
五條市	2	ため池、農道
宇陀市	9	農道、水路
山添村	10	農道、水路
御杖村	7	農道、水路
明日香村	1	水路
大淀町	2	ため池、農道
野迫川村	2	ため池、農道
十津川村	1	水路
東吉野村	1	農道
合計	35	-

## ◇林道

## 【これまでの取組成果】

主な被災箇所187箇所のうち、**182**箇所が完了（平成26年8月末現在）



## 【前回(5月)との比較】

工事着手済 186箇所 → 186箇所

前回以降の主な着手箇所

〔 無し 〕

うち完了 175箇所 → **182**箇所

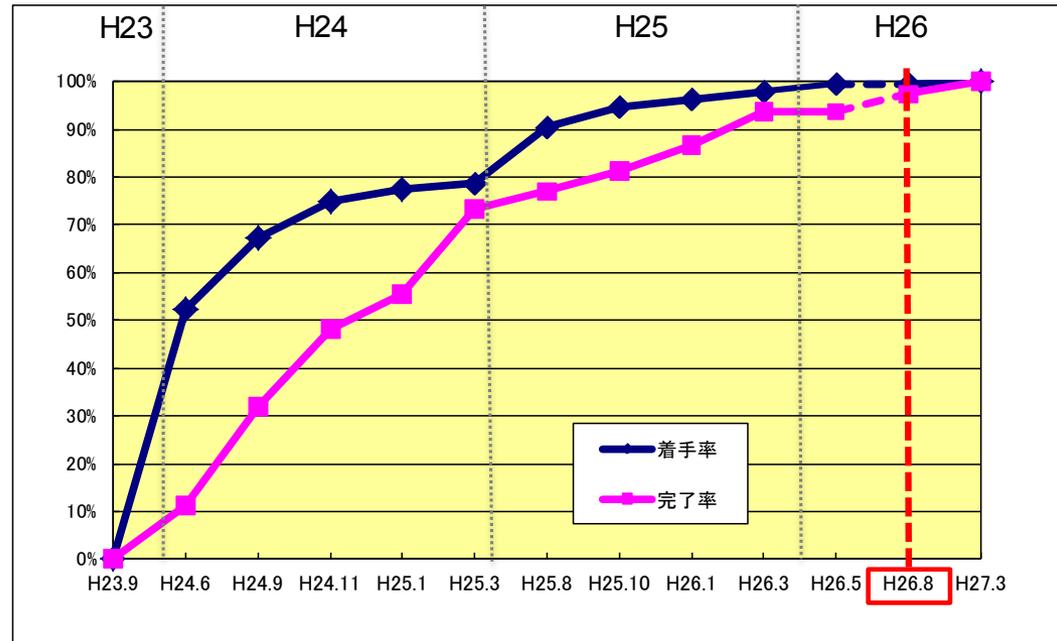
前回以降の主な完了箇所

〔 十津川村 奥千丈線2号箇所  
野迫川村 コノ線5号箇所 〕

着手率 99% → 99%

完了率 94% → **97%**

進捗状況(実績と今後の予定・見込み)



## 【今後の取組予定】

・未復旧の5箇所について、平成26年度末までに完了予定

## 林道災害箇所への復旧・対策状況

番号	路線・箇所名	所在地	主な工事内容	完成目標	H26年8月末までの進捗状況	H26台風11号の影響	被害内容
①	山崎谷線 7号箇所	十津川村 山崎	・路側擁壁工 ・舗装工	H26年6月	・工事完了		
②	川津今西線 4号箇所	十津川村 今西	・路側擁壁工 ・舗装工	H27年3月	・土工施工中 ・擁壁工施工中 ・法面保護工施工中		
③	川津今西線 5号箇所	十津川村 今西	・路側擁壁工 ・舗装工	H26年6月	・工事完了		
④	川津今西線 6号箇所	十津川村 今西	・路側擁壁工 ・舗装工		・工事完了		
⑤	奥千丈線 2号箇所	十津川村 杉清	・路側擁壁工 ・舗装工	H26年7月	・工事完了		
⑥	小井谷線 1号箇所	十津川村 杉清	・路側擁壁工 ・排水施設工	H26年7月	・工事完了	○ (H26災害)	・竣工後の新たな災害 (路側擁壁の洗掘)。
⑦	小井谷線 4号箇所	十津川村 杉清	・路側擁壁工 ・土工		・工事完了		
⑧	コノ谷線 3号箇所	野迫川村 平	・路側擁壁工 ・土工	H26年12月	・土工施工中 ・路側擁壁工施工中 ※完成目標がH26年9月 から12月に変更	○	・基礎床掘中の箇所の 被災(埋没)。
⑨	コノ谷線 4号箇所	野迫川村 平	・路側擁壁工 ・土工		・施工中(建込中)の型 枠被災。	○	
⑩	コノ谷線 5号箇所	野迫川村 平	・路側擁壁工 ・土工	H26年9月	・工事完了		
⑪	桑の谷線 2号箇所	天川村 栢尾	・切土工 ・舗装工	H27年3月	・発注準備中		
⑫	殿野坪内線 6号箇所	天川村 坪内	・路側擁壁工 ・舗装工	H26年12月	・土工施工中 ・路側擁壁工施工中		



林道奥千丈線2号(完成)  
平成26年7月25日撮影



林道コノ谷線5号(完成)  
平成26年7月24日撮影



林道殿野坪内線6号(擁壁工施工中)  
平成26年7月24日撮影

※ 復旧完了箇所

# 平成26年台風11号による被災状況(林道災害)

## 【十津川村杉清】

林道小井谷線1号箇所

被災前

平成26年7月4日撮影



路側擁壁完成



被災後

平成26年8月11日撮影



増水した河川水の影響で路側擁壁基礎の洗掘  
(H26林道災害復旧事業で対応予定)

## 【野迫川村平】

林道コノ谷線(4号)箇所

被災前

平成26年8月4日撮影



基礎部分のコンクリート打設済み



被災後

平成26年8月11日撮影

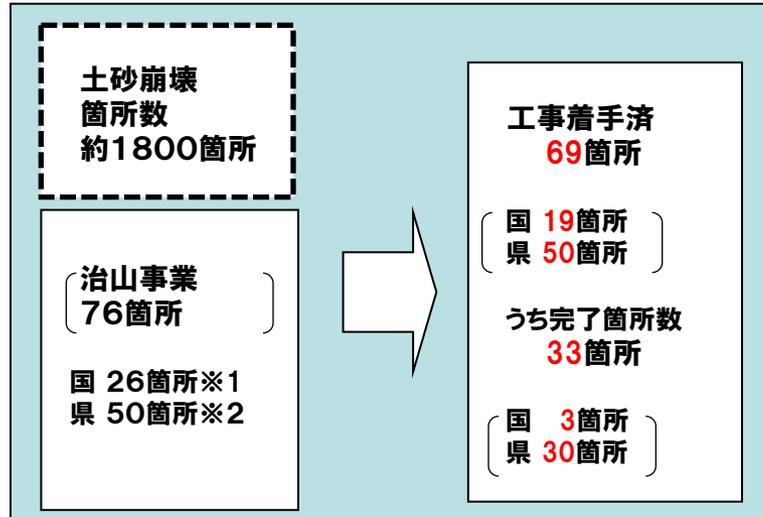


流入した土砂及び路面水で路側擁壁の型枠が川側へ押し出されて変形  
(手戻り工事に対応予定)

## ◇治山事業での林地崩壊の復旧状況

## 【これまでの取組成果】

治山事業も、順次実施中（69箇所です工事着手済み、うち33箇所です工事完了）  
（平成26年8月末現在）



※1 国の事業箇所は、十津川地区民有林直轄治山事業全体計画に基づく箇所数（H23年度から33年度まで順次対応（計画は次ページ））

※2 県の事業箇所は、H25当初予算までの対応予定箇所 H26の新規箇所は11箇所（H27以降の箇所数は未定）

前回(5月)以降の主な着手箇所

〔 (国)十津川村今西 〕

前回(5月)以降の主な完了箇所

〔 無し 〕

## ○主な県の治山工事の状況

黒滝村  
(赤滝地区)

着手前



着手前 平成25年5月14日撮影

○工事状況

- ・平成25年度から山腹工（法枠工）を施工中
- ・平成26年度も引き続き事業予定

現状

平成26年8月6日撮影  
法枠工(施工中)上北山村  
(西原ナメゴ地区)

着手前



着手前 平成25年9月20日撮影

○工事状況

- ・平成23年～25年度に谷止工を施工
- ・平成26年度以降も引き続き谷止工施工中

現状

平成26年8月4日撮影  
2号3号谷止工完成、1号谷止工(施工中)

## ○主な国の治山工事の状況

※ 国事業は「十津川地区民有林直轄治山事業全体計画」に基づく事業

## 【施工例】 十津川村野尻(野尻地区)

## ○工事状況

- 平成23年民有林直轄治山災害関連緊急事業により対策工事を実施
- 平成24、25年度 民有林直轄治山事業実施
- 26年度も継続して事業実施



1号谷止工(手前)完成 平成26年4月17日現在

## 現状



4号谷止工(最奥)施工中 平成26年8月8日現在

## 【直轄治山事業】 十津川地区 施工予定期間

※H26.7月時点の計画(変更後の計画)。工事の進捗状況により今後の施工期間の変更の可能性あり。

地区番号	地区名	箇所名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	事業実施期間	地区内の主な工種
①	宇宮原区域	テラ谷												H23~H28	溪間工12基、山腹工6.01ha(2箇所)
		濁谷												H24~H33	
②	長殿区域	長殿谷												H29~H33	山腹工2.17ha(1箇所)
③	内野区域	山天												H23~H27	溪間工8基、山腹工3.35ha(2箇所)
		内野												H23,24,H26~30	
④	上野地区区域	河津谷												H24	溪間工3基、山腹工2.11ha(2箇所)
		高津谷												H23~H29	
⑤	西川区域	今西												H26~H33	溪間工4基、山腹工1.10ha(1箇所)
⑥	神納川区域	小井谷												H24	溪間工7基、山腹工4.05ha(4箇所)
		五百瀬1												H23~H33	
		三田谷												H27~H30	
		五百瀬2												H23~H28	
⑦	旭区域	宮谷											H28~H33	溪間工2基、山腹工1.70ha(1箇所)	
⑧	野尻区域	野尻												H23~H33	溪間工8基、山腹工3.88ha(4箇所)
		山崎谷1												H25~H28	
		山崎谷2												H27~H29	
		山崎谷3												H28~H32	
⑨	折立区域	折立											H23~H27	山腹工1.14ha(1箇所)	
⑩	堂平区域	堂平											H23~H30	山腹工3.35ha(7ソカ-工、集水幹-リンク'工)	
⑪	赤谷区域	赤谷a												H29~H33	山腹工10.08ha(2箇所)
		赤谷b												H25~H28	
⑫	天川区域	川合												H23~H25	溪間工7基、山腹工6.30ha
		坪内												H23~H28	
		栃尾												H23~H28	
⑬	野迫川区域	北股												H29~H33	溪間工1基、山腹工3.70ha(2箇所)
		檜股												H23~H28	
計	13区域	26箇所													

## 【今後の取組予定】

- 県は、多数の林地崩壊箇所のうち、緊急度・重要度の高い箇所(川上村高原地区など)を優先的に選定し、早期に対策を実施
- 国は、十津川地区民有林直轄治山事業全体計画に基づき、対策工事を実施

# ◇第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～

ゆたかなる 森がはぐくむ 川と海

## ○大会の概要

- 主催 豊かな海づくり大会推進委員会  
第34回全国豊かな海づくり大会  
奈良県実行委員会
- 開催日 平成26年11月15日(土)、16日(日)
- 開催場所 大淀町、川上村、五條市、橿原市
- 行事会場 式典行事(大淀町文化会館あらかしホール)  
放流・歓迎行事(おおたき龍神湖)  
放流行事(吉野川大川橋下流河川敷)  
関連行事(JAならけんまほろばキッチン)

## これまでの取り組み

- 奈良県実行委員会の設立
- 1年前イベントの開催  
(五條市、橿原市、川上村)
- リレー放流の実施
- 大会テーマの募集
- 大会弁当コンテストの実施
- 作品(作文・絵画・習字)  
コンクールの実施
- 111日前イベント
- 機運醸成・PR活動 等



111日前イベント  
(イオンモール橿原 平成26年7月27日)



大会公式ポスター

# ◆産業の復興状況

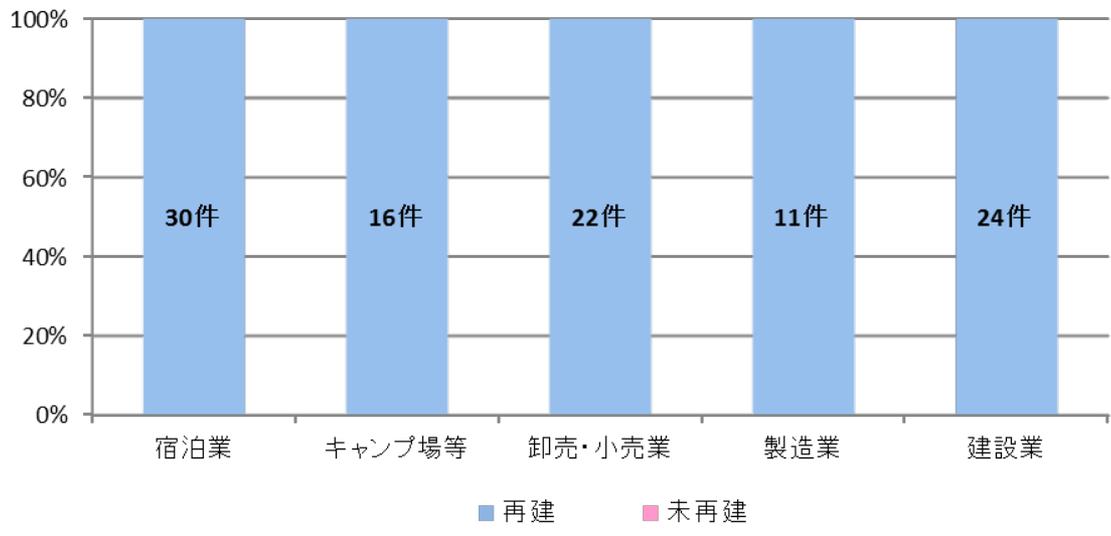
## 【これまでの取組成果】

- 企業の再建率 再建意欲のある事業所全てが事業再建（平成26年8月末現在）
- 資金貸付実績 172件 約47億円（被災直後～平成26年7月末実績）
- 物産展の開催、出展を支援 平成25年度 9市町村の取組を支援

## 再建状況調査

・再建意欲のある被災中小企業者全てが事業再建（再建率100%）。

業種別再建率



H26.8.29現在

被害 件数A	再建 業者数B	廃業C	再建率 $\frac{B}{A-C}$
122	103	19	100%

※再建事業者数には、一部再建を含む  
 ※廃業の理由：経営者等の死亡4件、施設・設備の修復を断念11件、高齢による4件



事業再建したキャンプ場(天川村)

## 災害復旧対策資金貸付

- 貸付実績(H23年11月～H26年7月)  
件数 172件 貸付額 4,697百万円  
(前回報告(H26年5月末実績)以降の新規貸付は無し)
- 被災中小企業者等による資金の借入れが進み、H24年7月以降の新規貸付は減少
- 貸付実績の多い業種 土木建築等 50.6% 旅館・ホテル12.8%

## 被災地域の物産販売促進支援

物産展等の開催経費を市町村に対し支援

○H26年度 執行予定額 11,085千円

- ・実施市町村 1市2町7村(五條市・吉野町・下市町・黒滝村・天川村・野迫川村・十津川村・上北山村・川上村・東吉野村)
- ・出展する主な物産展
 

H26.9.21～23	世界遺産10周年記念「奈良・吉野路観光と物産展」(東京都)
H26.10.5	なんゆう祭2014(五條市)
H27.3中旬	旅まつり名古屋2015(名古屋市)



高砂市制60周年記念事業 IN ご当地博  
(H26.5.31～6.1)(黒滝村出展)

## 【今後の取組予定】

融資制度を継続するとともに、物産販売促進支援も引き続き実施し、被災事業者の事業再建を支援

### 台風12号災害復旧対策資金

融資枠 500,000千円 貸付限度額 設備 80,000千円 運転 80,000千円  
貸付利率 1.000% 貸付期間 10年(うち1年据置)

### 被災地域の物産販売促進支援事業

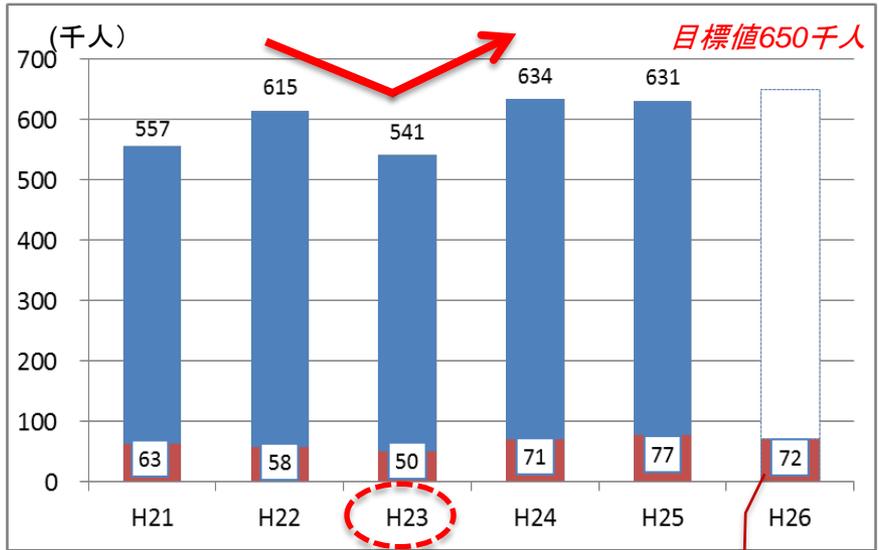
H26年度は集中復旧・復興期間の最終年度にあたることから、その集大成として 本事業を実施し、紀伊半島大水害からの復興をアピールする。そのため県内、東京、名古屋において被災地市町村が共同して出展する。

# ◆観光業の復興状況

## 【これまでの取組成果】

- ・観光プロモーション、プレミアム宿泊旅行券発行、南部地域での会議の開催支援などの取組を実施
- ・こうした取組の効果などにより、平成24年の宿泊客数は、目標としていた被災前（平成22年）の宿泊客数を上回り（3%増加）、平成25年も同水準を維持

## 宿泊客数の動向(南部・東部地域)

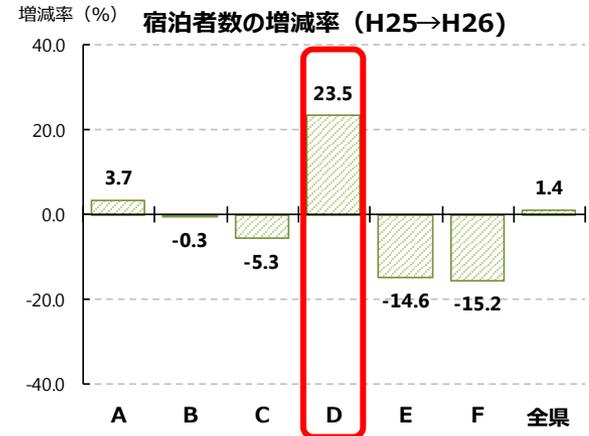


紀伊半島大水害発生  
(H23年9月)

1~3月実績

※県南部・東部地域の宿泊客は、被災直後のH23年9月～11月に大きく減少

## エリア別宿泊観光客の増減 (H26年1~3月)



Dエリア(吉野町、天川村、大淀町、下市町、黒滝村)で増加



# ○観光の復興への取組状況

## (1) 南部地域の情報発信拠点としての「JAならけんまほろばキッチン」内、観光案内所

○コンシェルジュの配置。電子機器を活用し、人対人の対応による旬の観光情報を提供(H25.4.14オープン)

利用者 H25年度:45,983人 H26年度:20,876人(H26年8月末現在)

○市町村等との連携イベント開催

開催実績 H25年度 : 7回(参加者14,000人)

H26年度 : 8月17日 大淀町(参加者835人)

8月31日 明日香村(参加者970人)

## (2) プレミアム宿泊旅行券の発行

H26年度 8市町村参加 25,200枚発行予定(四期に分けて販売)

※五條市、吉野町、天川村、野迫川村、十津川村、下北山村、上北山村、川上村

発行枚数:15,850枚 販売枚数:13,070枚(8月15日現在)

## (3) 南部地域での会議等開催支援

H25年度 受付:73件 宿泊人数:6,554人

H26年度 受付:44件 宿泊予定人数:4,458人(8月19日現在)

## (4) 観光プロモーション等

○東京駅デジタルサイネージ広告の制作・掲出

掲出期間:H26年3月1日~4月30日

○各種媒体での特集ページの掲載(旅行雑誌「じゃらん」など)

「じゃらん」掲載:8月号(十津川村、五條市、御所市)

9月号(川上村、上北山村、下北山村)

## (5) スポーツを核とした観光振興

○「弘法大師の道」を活用したトレイルランニングレースの開催

開催日:H26年6月28日 前夜祭、6月29日 レース本番

コース:①吉野山金峯山寺~高野山金剛峯寺

② 天川村洞川~高野山金剛峯寺

参加人数:169名



プレミアム宿泊旅行券パンフレット



旅行雑誌「じゃらん」8月号掲載記事

## (6) 地域が一体となった取組

### ○洞川温泉での取組例

#### 徹底した「じゃらん」による情報発信

- ・洞川温泉街のすべての旅館が「じゃらん」宿泊予約サイトを利用
- ・併せて同サイト内で地域をPR
- ・観光情報誌「じゃらん」を利用した情報発信

- ・じゃらんAWARD2012  
「元気な地域大賞」受賞



#### 新たな魅力の創出

- ・「面不動鍾乳洞」トロッコのリニューアル  
4両編成16人乗り、テーマパーク仕様で大人気



- ・旅行商品造成  
～天河大辨財天社正式参拝  
と修験道プチ入門  
天川村商工会青年部が企画  
洞川温泉宿泊限定プラン



#### 環境整備

##### ～レトロ温泉街のブラッシュアップ～

- ・「洞川温泉ほのぼのまちづくり協議会」  
を中心に洞川温泉街を整備

歓迎門の設置、道標の設置、道路の美装化、  
街路灯整備

- ・温泉の再ボーリング

(平成19年に温泉組合で1軒  
500万円の負担)



歓迎門の設置



道標の設置



道路美装化

#### イベントの実施

- 宿泊者限定の縁側無料開放イベント  
「天の川カフェ・縁側プラン」

本年は平成26年6月1日～9月27日実施

洞川温泉内の11軒の宿に宿泊した人だけが楽しめるナイトカフェ。

宿特製のスイーツやドリンクでおもてなし  
→11軒の宿がすべて違うスイーツでお出  
迎え



## 【今後の取組予定】

スポーツイベントを活用した誘客促進

ヒルクライム大台ヶ原since2001(9月)

山岳グランfondin吉野(10月)

カヌーフェスティバル(9、10月)

小辺路等活用トレイルランニングツアーイベント(11月)

紀伊半島三県クラブスポーツ大会、強化合宿(11月、12月)

ツール・ド・紀伊2014(9月～平成27年1月 ※モバイルスタンプラリー実施)

シー・トゥー・サミット & 環境フェスティバル開催検討



ツール・ド・紀伊2014パンフレット



カヌー体験教室(大滝ダム)

観光案内所における観光情報提供

「JAならけんまほろばキッチン」内で、市町村等との連携イベント等を開催

10月:東吉野村

観光プロモーション

雑誌、インターネット、スマートフォン対応アプリなどを活用した情報発信を実施

旅行雑誌じゃらん10月号、1月号掲載予定

南部宿泊観光PR事業

市町村が発行するプレミアム宿泊旅行券に対する助成、観光プロモーションの実施

# ◆福祉の充実

## 【これまでの取組成果】

- ・五條市大塔町、十津川村において、山間地域における地域包括ケアの実現に向けたモデル事業を実施  
大塔町：高齢者の見守りや配食サービス等の生活支援がスタート  
十津川村：高齢者実態把握調査を実施し、高齢者向け福祉施設の在り方について検討
- ・シンポジウムの開催等を通じて、モデル事業の取組内容を他地域へ普及
- ・避難者のこころの不調の予防とケアを行うため、臨床心理士を派遣（102回・対象者延べ225名）

### ○モデル事業

#### (1)五條市大塔町

地域住民や関係団体、行政等による地域検討会「おおとう元気会議」が立ち上がり、地域で暮らし続けるための仕組みづくりとして、様々な取り組みが広がる

- ・郵便局や消防分署が高齢者の見守りに参画、避難者の一時帰宅を学生ボランティアが支援
- ・財団法人大塔ふる里センターによる配食サービス開始、大塔支所による買い物バスツアー実施
- ・「地区別懇談会」を実施し、災害時の避難方法等について検証 等

#### (2)十津川村

復旧・復興のための庁内検討会議「活力と魅力あふれる村づくり推進委員会」設置

→H25年8月に実施した高齢者実態把握調査を通じて提案された高齢者向け福祉施設について検討

安心！  
消防の家庭訪問



### ○モデル事業の他地域への普及

- ・シンポジウムを開催し、「おおとう元気会議」の取り組みを紹介(参加者約120名)(H25年11月3日) 消防署による見守りを兼ねた防火訪問
- ・地域包括支援センター長・市町村担当課長合同会議で、「おおとう元気会議」の取り組みを紹介(H26年5月27日)

### ○臨床心理士の派遣

- ・住民、行政職員向けのカウンセリング、コンサルテーションを実施

(H23年度からH26年8月までの実績:五條市30回・延べ52名、天川村27回・延べ51名、野迫川村23回・延べ57名、十津川村22回・延べ65名)

## 【今後の取組予定】

- ・「おおとう元気会議」におけるこれまでの取組成果を検証(H27.1開催予定)
- ・十津川村「高森集落づくり推進委員会」、「活力と魅力あふれる村づくり推進委員会」において、高齢者向け福祉施設及び利用者像等について検討
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けて、県から町村に出向きヒアリングを実施する際に「おおとう元気会議」の取組を紹介し、他地域への普及を図る
- ・臨床心理士の派遣においては、仮設住宅から自宅や復興住宅等に帰宅した住民のこころのケアのため、市村の保健師に対するコンサルテーションに力を入れ、きめ細かな相談体制を構築・実施

# ◆新しい集落づくり

## 【これまでの取組成果】

- ・十津川村において、今後のモデルとなる安心拠点集落として谷瀬地区と高森地区を選定
- ・集落づくりを組織横断的に進めるため、役場内に「活力と魅力あふれる村づくり推進委員会」を設置
- ・谷瀬地区と高森地区に、景観に馴染んだ復興住宅を建設
- ・モデル的な集落拠点整備として、「やりがい・生きがい『谷瀬』プロジェクト」および「助け合い・支え合い『高森』プロジェクト」における取組の具体的な検討

### やりがい・生きがい『谷瀬』プロジェクト

「集落が一体となって、やりがい・生きがいを得られる場をつくる」

#### ■交流活性化事業(H26年3月～)

- ・新たな滞在プランづくり、誘客イベントの企画・実施
- ・移住・定住に向けた仕組みと受入体制の整備、空き家改修等による交流拠点施設の検討など

#### ■特産品開発事業(H26年3月～)

- ・先進地の取組(加工所・農産物販売所など)の導入
- ・新たな農産物加工品等の開発など

#### ■受入環境整備事業(H26年3月～)

- ・沿道の花植、案内看板作成設置、遊歩道の整備など



谷瀬集落ワークショップ



空き家改修のイメージ

### 助け合い・支え合い『高森』プロジェクト

「村に最期まで住み続け、助け合い支え合う住まい方モデルを実現する」

#### ■助け合い・支え合い「高森のいえプロジェクト」事業(H26.4～)

- ・特別養護老人ホームと連携した「高齢者向け施設」等の整備検討
- ・施設の運営・管理主体のあり方についての検討
- ・「高齢者向け施設」等とともに、集落内外からの人もくつろげる集落空間の構築検討
- ・U、Iターン者を想定した住宅整備も併せて検討



高森のいえプロジェクト推進委員会



高森のいえ模型

# ◆安全・安心への備え

## ◇深層崩壊のメカニズム解明と対策研究

### 【これまでの取組成果】

- ・ 深層崩壊研究会（座長：京都大学 藤田教授）を設置（平成24年2月1日）
- ・ 「紀伊半島大水害 大規模土砂災害アーカイブ」ホームページの開設（平成24年10月5日）
- ・ 「深層崩壊のメカニズム解明に関する現状報告（平成25年6月版）」の公表（平成25年6月11日）
- ・ 国際防災学会インタープリバント2014のプレイベントの開催（平成25年9月5日）

### ○取り組み状況

- ・ 紀伊半島大水害の教訓を踏まえ、深層崩壊の危険度を把握し、警戒避難に活用するため、『奈良県深層崩壊マップ』及び『奈良県深層崩壊マップの解説』を作成※し、平成26年9月5日公表。

『奈良県深層崩壊マップ』:

深層崩壊の危険度を把握し、広域の警戒避難に活用するものとして作成。

『奈良県深層崩壊マップの解説』:

『奈良県深層崩壊マップ』の見方や活用方法を解説するものとして作成。

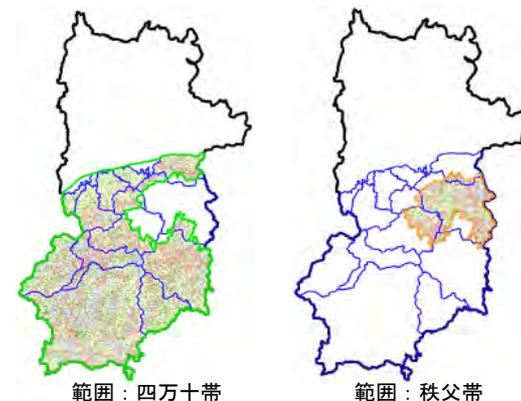
- ・ 「紀伊半島大水害 大規模土砂災害アーカイブ」の全体像（公開方法・利用イメージ）を作成※。

※平成26年8月27日の第11回大規模土砂災害 監視・警戒・避難システム検討会において提示

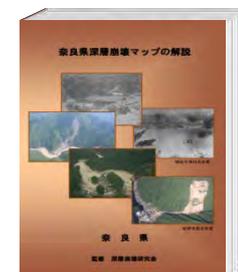
### 【今後の取組予定】

- ・ 平成26年度末に、深層崩壊のメカニズム解明に関する研究成果の最終とりまとめ
- ・ 平成26年度末に、紀伊半島大水害で発生した大規模土砂災害に関する調査・収集・分析した結果のアーカイブ化

『奈良県深層崩壊マップ』  
(奈良県HPに掲載)



+



『奈良県深層崩壊マップの解説』

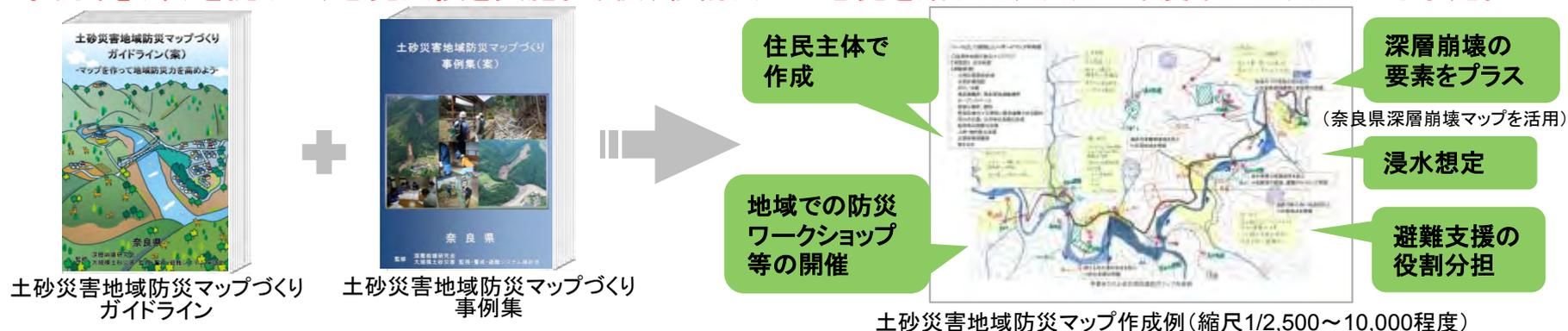
## ◇監視・警戒・避難のシステムづくり

## 【これまでの取組成果】

- ・大規模土砂災害監視・警戒・避難システム検討会※を設置（平成23年12月15日）  
（※学識者、国、県（奈良、三重、和歌山）、五條市、天川村、野迫川村、十津川村が主要な参加メンバー）
- ・モデル地区を設定し、大規模土砂災害を想定した総合的な防災システムの検討に着手（平成25年2月5日）
- ・深層崩壊セミナーを開催（約200名が参加）（平成25年11月22日）

## ○取り組み状況

- ・モデル地区（天川村：1地区、十津川村：2地区）の取組を他地区へ展開するため、県南部地域の自治体に対し、『奈良県深層崩壊マップ』の作成状況や土砂災害地域防災マップづくりを通じた地域防災力の向上を図る取組について説明を行い、意見交換を実施。
- ・第11回大規模土砂災害監視・警戒・避難システム検討会（平成26年8月27日開催）において、土砂災害地域防災マップづくりを行うための、『土砂災害地域防災マップづくり ガイドライン』（案）、『土砂災害地域防災マップづくり 事例集』（案）を提示し、意見交換を実施。今後、検討会での意見を踏まえ、平成26年度中にとりまとめる予定。



- ・「紀伊半島大水害 大規模土砂災害アーカイブ」をもとに、災害の経験を風化させず、次世代に継承するための防災教育ツール（防災教育webコンテンツ、模型）を作成中。

## 【今後の取組予定】

- ・該当市町村と連携し、『奈良県深層崩壊マップ』等を用いた防災対策を推進
- ・平成26年度末に、監視・警戒・避難システムづくりに関する最終とりまとめ
- ・大規模土砂災害監視・警戒・避難システムづくりの取り組みに関して継続・展開



## ◇災害時のライフライン(電気・通信等)の強化

### 【これまでの取組成果】

- ・避難所の機能強化（非常用電源の整備129箇所、衛星携帯電話の整備83台増加など）
- ・消防防災ヘリコプターテレビ電送システムの整備 など

## ◇記録の整備、次世代への継承

### 【これまでの取組成果】

- ・災害記録誌『紀伊半島大水害の記録』を発行（平成25年3月）
- ・災害記録誌『歴史から学ぶ 奈良の災害史』等が発行（平成26年3月）
- ・防災教育教材『「災害から身を守る」紀伊半島大水害の記録』（DVD）を作成（平成26年3月）
- ・『奈良の災害史』発行記念講演会を開催（平成26年9月6日）

など



『奈良の災害史』発行記念講演会

### 【今後の取組予定】

#### 災害時のライフラインの強化

- ・非常用電源の確保等（避難所の非常用電源や衛星携帯電話等の整備の推進など）
- ・施設・設備の強化（通信線・送配電線の複数ルート化や設備の強化など）
- ・防災行政無線の整備（県防災行政無線の再整備及び市町村防災行政無線の整備）

#### 記録の整備、次世代への継承

- ・『奈良の災害史』発行記念パネル展の実施（9月2日～19日）
- ・災害種別ごとの防災の日・防災週間等の周知・浸透

## ◇市町村地域防災計画見直しの支援

### 【これまでの取組成果】(平成26年)

- ・ 3月 : 奈良県地域防災計画の見直し
- ・ 4月～5月 : 市町村説明会、個別訪問調査等を実施
- ・ 6月 : **防災計画見直しモデル市町村として10団体を設定**
- ・ 7月 : 第1回モデル市町村連絡会議を開催
- ・ 8月 : モデル市町村個別訪問相談を実施

#### 防災計画見直しモデル市町村

五條市、香芝市、葛城市  
川西町、三宅町、上牧町、王寺町  
吉野町、下市町、天川村

### ○目的

- ・ 災害対策基本法の改正や、奈良県地域防災計画の見直し等を踏まえ、県内市町村の行う地域防災計画の見直しを支援する。

### ○具体的な支援内容(主に「住民避難」に関する支援を実施)

- ・ 避難勧告等に関する具体的な発令基準の作成
- ・ 指定緊急避難場所、指定避難所の指定
- ・ 住民参加型の防災訓練の実施 等

#### 住民参加型避難所訓練



### 【今後の取組予定】

- ・ モデル市町村連絡会議の継続的開催  
例) 災害種別(地域特性)ごとのブロック連絡会議 等
- ・ 個別支援を展開  
例) モデル市町村の庁内会議に出席して助言、地域の防災訓練に参加 等
- ・ 全国の災害事象や、先進的対策事例の調査・研究  
例) 避難勧告等の発令判断における実例の調査 等
- ・ 市町村災害対応研修会の開催  
例) 住家の被害認定調査研修会  
⇒今年度のモデル市町村の取り組みを「防災計画モデル市町村取組事例集」としてとりまとめ、次年度の市町村地域防災計画見直しに活用(～平成28年3月)

# ◆地域産業復興の取組

## 【これまでの取組成果】

- ・なんゆう祭（南部地域産業復興推進大会）の開催（平成25年11月23、24日）延べ4,950人参加
- ・市町村の意向を踏まえ、今後重点的に検討・推進する事業テーマを設定し、市町村と連携して具体的な事業を展開中。（農産品等による6次産業化の推進（下北山村の春まな）、有害鳥獣の駆除及び活用（上北山村加工施設整備）など）

## ○なんゆう祭2014

地域住民や県、市町村、団体等の連携・協力のもと、奈良県南部東部地域の活性化を図ることを目的に開催

- ・地域特産品等の物産展の開催
- ・特産品の開発と地域の魅力の発掘、創造
- ・地域の風土、歴史、文化などの魅力の発信



◎開催日 平成26年10月5日(日)(前夜祭4日(土))

◎開催会場 「五條市大川橋河川敷」(メイン会場)

◎開催内容

【4日 17:00～19:30 (前夜祭)】

- ・おもてなしライブ

【5日 10:00～16:00】

- ・南部東部地域物産展
- ・ステージ(ゆるキャラ大集合、地元小中高生による吹奏楽演奏、市町村PR等)
- ・やな漁体験
- ・柿狩りと柿の渋抜き体験
- ・五條新町ウォーク
- ・サテライト会場(藤岡家住宅、花吉野プラザ(大淀町)、かもきみの湯(御所市))
- ・ラフティング体験
- ・あかね染め体験

◎実施主体

南部東部地域活性化イベント開催協議会

(奈良県、南部東部地域の19市町村、ならコープ等で構成)

◎来場見込者数:20,000人

# ◆ふるさと復興協力隊

## 【これまでの取組成果】

- ・復興活動、地域協力活動、地域おこし活動などに従事する人材を県が直接採用し、市町村に配置  
18名配置（平成26年8月末現在）
- ・隊員向け研修会の実施（4回・延べ67人受講）
- ・任期終了後の定住を支援するため、協力隊員及び関係市町村へのヒアリングを実施

## 配置済の隊員の主な業務

五條市	3名	仮設住宅入居者などの生活支援等
宇陀市	2名	観光復興支援、鳥獣害対策等
高取町	1名	イベント企画運営等
下市町	1名	集落点検事業支援、地域情報の発信等
黒滝村	1名	農産物の生産・加工支援等
天川村	1名	特産品の商品化・発掘販売促進支援等
野迫川村	2名	「のせ川のまき」を使った産業復興支援、 観光情報の発信・誘客支援等
十津川村	2名	古民家を改修した宿泊施設の管理運営、 木彫り・木工指導等
上北山村	3名	村おこしメニュー造成、村情報の発信、 鳥獣害対策・獣肉加工支援等
下北山村	2名	地域特産物の生産販売支援等



隊員が管理運営する旧教員住宅を改修した宿泊施設  
（十津川村武蔵地区「大森の郷」）

## 【今後の取組予定】

- ・ふるさと復興協力隊配置  
引き続き、南部・東部地域の市町村に「ふるさと復興協力隊」を配置（25名予定）
- ・ふるさと復興協力隊等定住支援  
協力隊の任期（3年間）終了後の定住を支援するための方策を検討

